

令和6年度第1学期 卒業証書・学位記授与式

令和6年9月28日(土)福島学習センター、9月29日(日)いわきサテライトスペースにて卒業証書・学位記授与式が行われ、卒業を迎えられた21名のうち11名の出席がありました。

学歌斉唱のあと、中田所長から一人ひとりに卒業証書・学位記が手渡され、お祝いの式辞がありました。

続いて卒業生を代表して、福島学習センターでは小野利之さん、いわきサテライトスペースでは伊藤純子さんが「御礼のことば」を述べました。

ご卒業おめでとうございます



※延べ卒業生数 大学院61名 教養学部1,065名
(いわきサテライトスペース卒業生数含む)

令和6年度第2学期 入学者の集い

卒業証書・学位記授与式に引き続き、令和6年度第2学期入学者の集いとオリエンテーションが行われました。中田所長の挨拶の後、オリエンテーションでは放送授業、面接授業、オンライン授業、施設の利用方法、客員教員ゼミや所長カフェ等の説明が行われ、新入生の皆さんは熱心に聞いておられました(写真はいわきサテライトスペース)。



御礼のことば

福島学習センター所属 小野 利之

学位記授与式にあたり、僭越ではございますが、卒業生を代表して一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を開催していただき、誠にありがとうございました。

また、学習センター所長様はじめ事務局の皆様、面接授業やゼミの講師の先生方には、充実した学びの場を与えていただき、深く感謝を申し上げます。

私は、実は、現役で働いていた頃から、退職後は放送大学で学びたいと考えておりました。

ただ、私の放送大学に入学した動機は、それほど強いものではなく、退職後の生活を充実させたいという思いであり、学びを通して、生活の中に一定のリズムと緊張感を取り入れることができればよいなと、漠然と考えておりました。

そこで、退職と同時に、平成30年に放送大学に入学をいたしました。

コースは、人文学系統の学問について、専門の先生方から講義を受けたいと思い、「人間と文化」コースを選びましたが、テキストには膨大な内容が盛り込まれており、理解し覚えるのに、60代後半の私の頭ではなかなかの苦勞でもありました。

放送大学の良さは、いろいろなコースの授業を自由に受けることができる点にもあると思いますが、私も心理学の授業をいくつか受けて、その一端を垣間見ることができ、次のステップにつなげることができました。

現在、私の本棚には30冊以上の放送大学の

テキストが並んでいますが、開いてみるとどのページにも赤や黄色の傍線が引かれています。

文学や歴史、美術、音楽など、多様な専門分野にわたる内容を、6年間の学習の中で、一度は自分の頭の中に吸収したものだ考えると、放送大学で学べたものの大きさには感慨深いものがあります。

さらに、面接授業は楽しく印象深いものでした。いろいろな立場や年代の人たちといっしょに学ぶことで良い刺激を受けることができました。日本近代文学やふくしまの地域史、音楽療法、アグロエコロジーなどの面接授業は強く印象に残っており、学ぶ楽しさを肌で感じることができました。

また、単位認定試験の際に、問題用紙を前に開始の合図を待っている時の緊張感は数十年ぶりに味わうものでしたが、心地よく若返ったような感覚を覚えました。

最初に申し上げたように、私が放送大学に入学した動機は、強いものではなく、漠然と考える程度のものでした。

しかし、今、普段は午前中に畑で野菜づくりに汗を流し、午後はパソコンに向かい気を引き締めて放送授業を聴くという充実した生活を続けられています。

放送大学がなければ、このような生活を送ることはできなかったと思います。

改めて感謝を申し上げますとともに、放送大学の益々のご発展をお祈りして、御礼の言葉といたします。

令和6年9月28日

いわきサテライトスペース所属 伊藤 純子

風に揺れるコスモスに秋の深まりを感じる季節となりました。

本日は私ども卒業生のために「卒業証書・学位記授与式」を挙げていただき、心より感謝申し上げます。

私は子どもが大学入学したタイミングで、私自身の長年の夢であった大学で勉強してみたい、知識を深めたいという思いを実現しようと放送大学に入学いたしました。いろいろな困難もありましたが、「自分のペースで一つ一つ学び続けて還暦までには卒業する」という目標をたて取り組んで参りました。大学生生活は初めてのことでしたが、通信指導のみならず、面接授業でも素晴らしい先生方の講義を受けることができたことは、私の日常が豊かになり視野が広がっていったことにつながったと感じております。ゼミにも参加し、学友と意見を交わし共に学び共有する喜びも体験することができました。単位試験は年齢による眼精疲労と記憶力低下との戦いではあり

ましたが終わった時の達成感と解放感は日々の生活に張りをもたらせてくれました。そして面接授業を通して様々な年代の学友の方々とご一緒してお話し交流できたことは、私にとっての大切な気付きとなりこれからの人生の刺激にもなりました。

私はまもなく還暦をむかえますが、この放送大学での学びをどう今後の人生に生かしていくかじっくり考えながらも、さらに知識を深め人生を楽しんで生涯学習を進めていこうと思います。そのために再入学し新たな学びを継続していく所存でございます。

最後になりましたが、いつもすばらしい環境で支えてくださいました諸先生方、学習センターとサテライトスペースの職員の皆様にご心から御礼申し上げます。

放送大学の益々のご発展をお祈りいたしまして御礼のことばといたします。

令和6年9月29日